

やまだんの
山田野

60

独立行政法人 北陸病院
国立病院機構

〒939-1893 富山県南砺市信末5963
TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

* 冬の風物詩 *



新年のごあいさつ

国立病院機構北陸病院 院長 吉田 光宏

新年、明けましておめでとうございます。

さて、今年は、昨年にも増して「一人ひとりと向き合い、最適な医療を共に考え、支える医療を実践します」という当院の理念を皆さんと深く共有しましょう。最適な医療は、当院のビジョンにあるように、「地域医療への貢献」、「健全な経営」、「職員幸福度」が良いサイクルで回ることによって達成されるものと考えます。当院は地域の皆さまに信頼される医療機関として、日々診療を行ってまいりました。新たな年を迎えるにあたり、これまでの歩みを振り返りつつ、より広くビジョンの共有を目指していく所存です。

昨年は、医療業界全体が引き続き厳しい状況にあった中で、スタッフ一人ひとりが患者様に対する思いやりと責任感を持ち、医療現場での専門性を発揮してきました。しかし、これからの時代には、技術の進歩とともに、医療の質を高めるためにさらに重要なことがあります。それは、病院内で働くすべての人々が互いに尊重し、安心して働ける環境を作ることです。

多様性を受け入れる職場づくりを進めることは、これからの医療において欠かせない重要なテーマだと考えています。職場には様々な価値観や背景を持ったスタッフが集まります。性別、年齢、文化的背景、宗教など、さまざまな違いを尊重し、互いに理解し合うことこそが、より強固で前向きなチームを作る土台となります。私たちが目指すのは、誰もが自分らしく働ける職場であり、そのためにはお互いに寛容であり続けることが大切です。

その上で、ハラスメントや虐待などの問題が起こらないよう、予防に力を入れていくことも、私たちの重要な責務であると考えています。職場におけるすべての人々が尊厳を持って接し、安心して業務に取り組めるよう、今年も引き続き、教育・啓発活動を強化してまいります。また、万が一問題が発生した場合には、迅速かつ適切に対応できる体制を整え、再発防止に努めます。

2025年は、さらに包括的で支え合う職場環境を築き、スタッフが一丸となって患者様に最高の医療を提供できるよう、皆で力を合わせていきたいと思っています。医療の現場において最も大切なのは、患者様との信頼関係であり、そのためには職場内での信頼が不可欠です。お互いを尊重し合い、協力し合うことで、患者様にとってもより良い医療サービスを提供できると確信しています。

新たな年が皆さまにとって実り多い年となり、共に成長できることを心より楽しみにしています。引き続き、当院の理念にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

どうぞ、よろしくお願い申し上げます。



仕事とプライベートの両立100%です!



北陸病院、看護部長室です!

当院では、20代~60代の看護師が精神科・認知症・重症心身障害児(者)・神経筋難病・司法精神と幅広い領域の看護を提供しています。男性看護師・女性看護師の比率は半々で、男性看護師も育児休暇や育児時間を取得し子育てと看護を両立しながら活躍しています。若手、中堅だけでなく、定年退職後の看護師も「プラチナナース」として、活躍してくれています。

加えて、専門看護師や認定看護師、特定行為実践看護師、院内認定看護師、CVPPPのインストラクターなどのスペシャリストも多く在籍し、キャリアアップを目指す看護師への支援も充実しています。

また、当院は超過勤務も少なく、離職率も低いことから働きやすい職場としてお勧めしたいところです。

さらに、春には『新緑祭』、秋には『文化祭』と病院行事もあり、看護だけでなく、医師・コメディカル・事務と全職種が協働し、患者さんや地域の皆さんと交流できる場を企画しています。他職種を超えた人間関係の良さも魅力です。

富山県の市街地からは離れていますが、自然豊かな当院で、私たちと一緒に働いてみませんか? 見学、お問い合わせ、随時受け付けております。詳しくは、下記までご連絡ください。

お問い合わせ

mail : 301-hokuriku-kango@mail.hosp.go.jp 看護部長室
Tel : (0763) 62-1340 副看護部長

摂食嚥下障害看護認定看護師だより

看護師として働いているなかで、加齢や障害によってふつうの食事をたべることがむずかしくなり、“嚥下食”に変えざるを得ない患者さんと多く出会ってきました。“嚥下食”とは、食材をやわらかく食べやすいように加工し、少量でも多くの栄養をとることができる食事です。ただ、嚥下食に対しては、口にする前から美味しくない、見た目がわるいといったネガティブなイメージをもっている人たちが少なくないように思います。

しかし、近年の嚥下食は、見た目の美しさや風味、食器にも工夫が施されており、年々、“誰が食べても美味しい食事”に進化しています。世の中に目を向けると、京料理やフランス料理のお店でも嚥下食を提供しているところがあり、嚥下食レシピのコンテストまで開催されているそうです。

当院で提供している嚥下食もさまざまな工夫がされています。看護師としても患者さんの食べる機能に合わせて、安全で美味しい食事が続けられるようお手伝いしたいと思っております。



嚥下食



外来担当医表

※令和6年4月より下記に変更

項目	月	火	水	木	金
精神科(初診)	池田・志摩(1,3,5)白藤(2,4)	加藤・志摩	白石・池田	沼田・加藤(1,3,5)白石(2,4)	橋本・沼田(1,3,5)須田(2,4)
精神科(再診)	加藤・橋本	白石・池田	沼田・須田	須田・白藤	池田・志摩
脳神経内科	吉田	小竹	小竹	吉田	高橋
内科		渡辺	渡辺	竹村	
心療内科			白石	白石(節酒外来)	
睡眠外来(初診)			細川	細川、古田(4)	
睡眠外来(再診)	吉田	細川	細川		
専門外来	もの忘れ外来(吉田・橋本・池田・志摩・沼田) パーキンソン病外来(吉田・小竹) 重症心身障害児<者>外来(石崎・池田) 認知行動療法外来(うつ、不眠)(白石)		認知症セカンドオピニオン外来(吉田) 遺伝カウンセリング外来(小竹) 禁煙外来(白石) 節酒外来(白石)		

●診察は完全予約制となっております。地域医療連携室にご相談ください。

●受付時間・・・8:30～11:30 診察時間・・・9:00～12:00

【地域医療連携室 直通電話】 **0763-62-1950**

我が家の一員紹介

名前はララアと申します。8月のお誕生日を迎えて14歳になりました。小さい頃から勤が良く、飼い主の行動を先読みするのが得意なわんこです。好きなことは散歩と食べること、人から撫でられること。10年ほど前に前職場の機関紙にも載せていただいたことがあったのですが、その時と比べてすいぶん白い毛が増えました。(赤いリボンの画像がそれです)それでもとても元気で、一度散歩に出かけると小1時間は練り歩くので、飼い主の良い運動にもなっています。



【交通アクセス】

- ◆交通機関
JR城端線、城端駅より、タクシーで約5分。
- ◆高速道路
東海北陸自動車道、福光ICより約5分。
- ◆南砺市コミュニティーバス
JR城端駅・福光駅より出ています。



独立行政法人 国立病院機構 北陸病院

〒939-1893 富山県南砺市信末5963

TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

ホームページ <https://hokuriku.hosp.go.jp/>

認知症疾患医療センター

睡眠医療センター

【編集・発行】北陸病院

【広報担当】池田・八反・柴田・山本